

ニュースの言葉

有关活断层

今年 4 月 14 日 21 点 26 分，以熊本县熊本地区为震源发生了里氏 6.5 级地震；16 日凌晨，规模更大的里氏 7.3 及地震再次袭击了熊本地区，在大约 28 个小时的短暂时间内，连续两次发生最大震级达到 7 级的地震，这在观测史上尚属首次，而地震活动也向熊本县阿苏地区及大分县中部地区扩展。

此次地震与 2011 年 3 月 11 日以太平洋三陆海域为震源发生的东日本大地震相比乃不同类型。熊本地震被认为是由日奈久断层带及布田川断层带的部分断层发生错位而引起的“活断层型地震（直下型地震）”，四川大地震（2008）也属于这一类型。对此相对，东日本大地震是由于海洋板块沉入大陆板块之下，二者的交界处发生挤压而引发的“海沟型地震”。（敬请参照本刊第 57 期）



活断層(横ずれ)

自熊本地震发生后，“活断层”这个词便频频出现在电视里。说起来，“活断层”到底是什么呢？活着的断层？活动中的断层？要是从我们居住的城市地面往下挖，最终会挖到坚固的岩石层，这些岩石层有着众多的裂缝，一般情况下，裂缝彼此咬合得很紧，但是一旦受到重力冲击，就会再次错位。而这些错位的岩石层便是“断层”，错位时产生的冲击以震动的形式传到地面，便是地震。这些“断层”中，存在着从太古时代起就不断活动，预计将来也会继续活动的断层，它们，就是所谓的“活断层”，意即“活着的断层”。据认为，日本列岛有将近 2000 个“活断层”。

活断層

今年 4 月 14 日 21 時 26 分に熊本県熊本地方を震源とする M（マグニチュード）6.5、16 日未明にはさらに規模の大きい M7.3 の地震が熊本地域を襲い、約 28 時間という短い時間の中で最大震度 7 の地震が 2 度発生するという観測史上初めての事態が発生しました。地震活動は熊本県阿蘇地域や大分県中部地域にも広がりました。

今回の熊本地震は、2011 年 3 月 11 日に発生した太平洋三陸沖を震源とする東日本大震災のときの地震とはタイプが異なる地震でした。熊本地震は、日奈久断層帯、布田川断層帯の活断層の一部がずれ動いたと考えられる「活断層型地震（直下型地震）」で、四川大震災(2008)もこのタイプの地震でした。これに対して、東日本大震災は、海洋プレートが大陸プレートの下に沈み込み、両者の境界が歪みを受けて地震が起こる「海溝型地震」でした。（本誌 57 号参照）

今回の地震以来「活断層」という言葉がテレビでもよく使われるようになりましたが、そもそも「活断層」って何でしょうか？ 活きている断層？ 活動中の断層？ 私たちが住んでいる街の地面を掘り下げていくと最後は固い岩の層にぶつかります。この岩の中にはたくさんの割れ目があり、通常この割れ目はお互いしっかりと噛み合っていますが、ここに大きな力が加えられると、割れ目がずれます。このずれたものを「断層」といい、そのずれた衝撃が震動として地面に伝わったものが地震です。その「断層」の中で特に、大昔から現在まで繰り返し活動していて、将来も活動すると推定される断層を「活断層」と呼んでおり、「活きている断層」という意味です。日本には約 2 千にもものぼる「活断層」と考えられています。

“活断层”可以说是有关地震发生起因的信息源，将来有可能要发生的大地震，其发生地点基本上可以从“活断层”的分布情况判断、预测出位于断层线上或是其周边部分，距离“活断层”大约 15 公里内，可以说是危险地区。此外，“活断层”还有几个特征，比如引发的地震间隔为 1000 年至数万年，十分冗长而基本固定，活动程度因断层的不同而不尽相同等。有关活断层分布及特征的信息，可以通过互联网之类的工具，搜索“活断层图”或“活断层地图”等来获取。此外，据说地方政府等也对活断层有着调查。

即使调动当今的科学技术，要对“大约几月几号发生地震”进行短期预测被认为是不可能的，因此，了解自身所居住的周边地区是否有活断层，对于树立防灾意识和进行心理准备是十分重要的。

「活断層」は地震の発生に^{かん}関^{じょうほうげん}しての情 報 源であるといえます。将 来^{しょうらい}発生する可能性のある大地震の発生場所^{ばしよ}は「活断層」の分布^{ぶんぷ}からほぼその線 上^{せんじょう}もしくは近^{きんぽう}傍^{よそく}だと予測^{よそく}できます。「活断層」から大まかに約 15 k m^{きろめーとる}は危険域^{きけんいき}だということです。また「活断層」には、大地震の発生間 隔^{かんかく}が 1000 年から数^{すうまん}万年と非 常^{ひじょう}に長^{なが}くてほぼ一定^{いってい}であるということや、活動^{ていど}の程度^{ちが}が断層ごとに違^{ちが}うということ等、幾つかの特 徴^{とくちよう}があります。活断層の分布や特徴に関する情報^たは、例^{れい}え、インタ-ネット^{いんた-ねっと}を使い、「活断層図^ず」や「活断層マッ^{まっ}プ」等の語^ごで検 索^{けんさく}して得^えることができます。また、自治体^{じちたい}による調 査^{ちようさ}も行^{おこな}われているようです。

今日^{こんにち}の科学技 術^{かがくぎじゆつ}をもってしても「何月何日頃^{ごろ}地震^{ちしん}が起こる」という短期^{たんきてき}的な予知^{よち}は無理^{むり}だと思われ^{おも}ますので、自分^{じぶん}の居 住^{きよじゅう}する地域^{しゅうへん}周 辺^{しゅうへん}に活断層があるのかないのかを知^しっておくことは災 害^{さいがい}に対する心^{こころ}構^{がま}えとして重 要^{じゅうよう}だと思われ^{おも}れます。(Ki)